



弥彦中学校だより

第7号 令和8年10月23日発行

協同の心と笑顔が生んだ「長続きする幸せ」～何のために頑張るのか～



校長

「我らこそが主人公 爆裂スマイルで彩る体育祭」をスローガンに掲げ、先月、体育祭が行われました。生徒の皆さんがグラウンドで見せた最高の笑顔は、大きな感動と共に、見ている人すべての心を豊かに彩りました。精一杯頑張る皆さんの姿から特に2つのことを教えてもらいました。

1つ目は「協同の心」です。弥彦中学校の教育目標にも使われている言葉です。協同の意味は、「同じ目的に向かって、仲間と力を合わせること」です。競技もパネルも応援も、何もないところから、みんなで理想を思い描き、形にしていきました。大勢の仲間と力を合わせて1つのものをつくり上げるには、難しさもあります。だからこそ、ともに成し遂げたときの喜びや感動は、より大きなものになります。赤と青に分かれてはいましたが、皆さんはスローガンのもと一体となって協力していました。「我らこそが主人公」の「我ら」とは、協同の心で結ばれた仲間、みなさん一人一人のことなのだと教えてもらいました。

2つ目は、爆裂スマイル、「笑顔」の力です。「幸せだから笑うのではない、笑うから幸せなのだ」「心が変われば行動が変わる」という言葉があります。みなさんはまさにその言葉の通りでした。笑顔を大切にしようという心をスローガンに込め、言葉だけでなく、実際に行動で示しました。そして、その笑顔は見に来てくださった多くの方々にさわやかな幸福感を届けてくれました。

体育祭を振り返って、時間がたった今でも、「準備や練習はきつくて大変だったし、本番は負けて悔しかったけど、今思うと楽しかったな」というように、しみじみと思い出せるこの幸福感。「ウェルビーイング」という幸せの考え方では、幸せには長続きするものと、そうでないものがあると言われています。体育祭を通して私たちが得た幸福感はまさに「長続きする幸せ」だと思います。

では、なぜ、この幸せは長続きするのでしょうか。ここでは2つの理由を考えてみました。

まずは、「4つの心」です。理想を描き、新しいことに挑戦した「やってみよう」の心。仲間や支えてくれた人に感謝し、つながりを深めた「ありがとう」の心。困難にも前向きに取り組んだ「なんとかなる」の心。互いの個性を認め、自分らしく頑張った「ありのままに」の心。体育祭での皆さんの姿には、「4つの心」がしっかりと表れていました。

そして、もう1つは、「目的を見失わない」ことです。皆さんは勝敗や賞という「目標」に向かって全力を注ぎました。だからこそ、負ければ本気で悔しかったはずですが、それでもなお、「最高だった」と言えるのはなぜでしょうか。競技中のお互いへの声援や拍手、そして結団式から解団式までのリーダーたちの言葉には、勝敗という結果だけでなく、目標のその先にある「目的」、つまり「何のために取り組むのか」「結果よりも大切なものがある」という思いが表れていたと思います。

本日の合唱コンクールでは、今度は各クラスに分かれ、賞を目標の1つに掲げて努力を重ねてきました。歌い終えた今、皆さんは何を思うのでしょうか。きっと感動と感謝の中で、自分たちの成長を実感し、その喜びを仲間とともに分かち合っていることと信じています。

<やってみよう！>体育祭・合唱コンクールで得た「大切なもの」を改めて考えてみよう！

白熱した体育祭！

「我らこそが主人公！ ～爆裂スマイルで彩る体育祭～」をスローガンに掲げて、熱戦が繰り広げられました。接戦の末、パネル賞は青チーム、競技の部と応援の部は赤チームが1位となり、総合優勝は赤チームでした。両チームとも素晴らしい活躍でした。保護者の皆様、地域の皆様には生徒の熱戦を応援していただきありがとうございました。



大会の結果

中越地区中学校駅伝競走大会	【男子】弥彦中学校	7位（県出場）
	【女子】弥彦JHSRC	3位（県出場）

11月の行事予定

5日（木）	県駅伝大会	17日（木）	弥彦村小中交流会
6日（金）	音楽鑑賞会、質問教室（～9日）	20日（金）	全校朝会
10日（火）	第3回定期テスト（～11日）	24日（火）	3年実力テスト
11日（水）	避難訓練	26日（木）	専門委員会
12日（木）	3年進路説明会	27日（金）	いじめ見逃しゼロスクール集会